

令和6年11月6日  
一般社団法人日本外食品流通協会  
会長 小田 英三

## 検品における外装段ボールへのGS1 QRコードの導入推進について(要請)

現在、発荷主である食品メーカー等は、物流の2024年問題の改善のため、会員等着荷主に対して①納品リードタイムの延長、②納品頻度の抑制、③最低納品ロットの引き上げを要請しており、着荷主である会員は、食品メーカー等の要請に対応するとともに、運送会社ドライバーの荷待ち・荷役時間の削減に取り組んでいます。今後、納品頻度の抑制と最低納品ロットの引き上げにより一回当たりの入荷量の増加が想定され、荷待ち・荷役時間を削減するためには、検品作業の効率化が必須となっています。

加工食品の入荷時検品は、目視確認・手書き記録の手法から、ボイス入力システムやハンディスキャナー・ターミナルによる画像の取り込みによるデジタル化の導入により効率化され、さらに、GS1 QRコードによる外装段ボール表示、事前出荷情報（ASN）の導入等が関係者で進められています。

このうち、GS1 QRコードは、商品情報、期限情報、ロット番号等が世界標準ルールで2次元バーコードとして表現されており、外装段ボールに印刷されることで、外装単位での入・出荷の検品やデータ記録が効率化・的確化されるため、発着荷主双方の課題である在庫管理・期限表示管理の高度化、トレーサビリティの確保等の解消に大きく寄与するものと考えます。

つきましては、外装段ボールへのGS1 QRコード表示の普及と活用に向け、関係各位に対し下記のとおり要請いたします。

### 記

- 1 食品製造業者各位は、全社でGS1QRコードへの理解を深め、経営トップの指揮の下、関係部署と連携し、導入に向け費用対効果など自社における課題の整理と解決をお願いします。
- 2 会員各位は、全社でGS1QRコードへの理解を深め、導入に向けた自社の検品作業や在庫管理の実態と導入の費用効果などの検討をお願いします。
- 3 国におかれては、GS1QRコードの導入推進のため、関係者が行う設備・機器、システム改修・導入、関係者間の検討等に係る費用についての助成・支援をお願いします。